

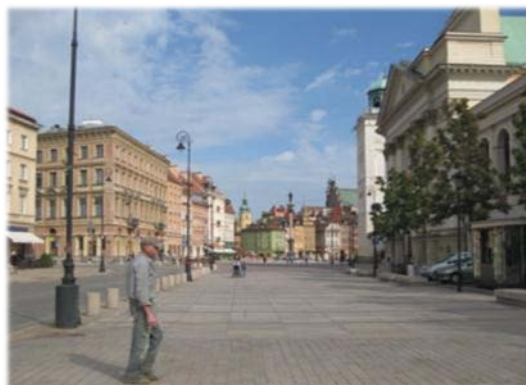
52nd ICBL に参加して

派遣国名:ポーランド

派遣期間: 2011.8.29~2011.9.4

学会名: 52nd International Conference on the Bioscience of Lipids

私は、ポーランドのワルシャワ大学で開催された“52nd International Conference on the Bioscience of Lipids (52nd ICBL)”に参加しました。本学会は、本年度で52回目を迎える、脂質研究では世界で最も伝統と権威のある学会の1つです。私は、海洋性真核微生物ラビリンチュラにおける種特異的な高度不飽和脂肪酸 (PUFA) 生合成経路の解析についてポスター発表を行いました。ラビリンチュラは、培養条件に関係なく PUFA を高度に蓄積していることから、PUFA の代替資源としてだけでなく、PUFA および PUFA 含有脂質の生物機能を解析するためのモデル生物としても期待される微生物です。そのため、多くの研究者の方々に興味を持って頂き、活発な議論を交わす中で、自分の研究に対する国際的な評価や今後の方向性を確認することが出来ました。

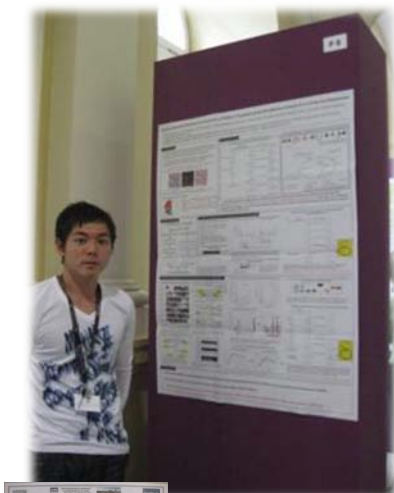


ワルシャワの町並み

しかしながら、研究に関する議論や日常会話を行う際に、思っていることを上手く伝えきれないこともあり、自分の英会話能力の拙さを痛感し、語学力の向上が必須であることを強く実感しました。他の研究発表に関しては、肥満や糖尿病などといった生活習慣病に対する PUFA

の有効性に関する研究が数多く有り、疾患と PUFA の関連性に関する最新の知見を多数得ることが出来ただけでなく、自身の研究の有用性を再確認することが出来ました。さらに、日本の著名な先生方や企業の研究者の方々にも懇意にして頂き、研究の話のみならず、色々な話を伺う貴重な機会を得ることが出来ました。

本学会では、上記のような多くの経験を積むことができただけでなく、ポスター賞に表彰され、大きな自信を得ることが出来ました。今回得られた経験と自信を糧として、自身の研究をより大きく発展させ、積極的に国内外の学会で発表していきたいと考えております。本国際会議に参加するに当たり、多大なるご支援をして頂きました、JSPS 組織的な若手研究者海外派遣プログラムの関係者の方々や先生方に心からお礼申し上げます。



受賞したポスター
(上)とその表彰状
(左)